

Mission of Universitas Indonesia Visiting JWRI -Promotion of the International Collaboration-

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅哲男
接合科学研究所 客員教授

2017年9月8日(金)に、インドネシア大学(Universitas Indonesia、略称: UI)の教員使節団が接合科学研究所を来訪した。使節団の訪問目的は、共同研究や学生・教員の交流を更に推進するための施設の視察である。

UIからは Asvial 副学部長(Engineering)、Mursanto 副学部長(Computer Science)、Rosdiana 副学部長(Administration Science)、Yanuar 副学部長(Pharmacy)、Prasetyo 副学部長(Public Health)、Lestari 副学部長(Law)、Adi 副学部長(Social and Political Science)、Wicaksono 副学部長(Vocational Program)の8名が参加した。阪大関係者として、国際部・国際企画課の今井課長、藤川事務補佐員が同行した。当研究所は、田中副所長、川人准教授、菅客員教授、勝又特任准教授、丸田事務長、山咲係長、大庭事務補佐員が対応した。「接合研の概要」、「UI工学部との連携の歴史」を田中副所長が説明した。今後の接合研への学生派遣につい

ての質疑もなされた。又、レーザ溶接、X線4次元可視化システムの設備見学を行った。訪問教員からは多くの質問があり、ものづくりに関する研究に対する関心の高さが認められた。

なお、接合研訪問の前には、河原理事・副学長、田中副所長、その他関係部局の教員、国際部とUI教員使節団(8名)の懇談会が银杏会館で開催され、UIと阪大間の学術・研究交流の発展についての意見交換が行われた。

UIの工学部と当研究所とは、2012年11月に学術交流協定を締結している。カップリングインターンシップ(CIS)の実施(2013年-2017年の間に5回)、ワークショップの開催(2014年5月と2016年11月)、UI学生の受入れ(JSTのさくらサイエンスプラン、共同研究コース)などを通して、連携を強化している。

今回のUI教員使節団の訪問を契機として、人的交流や共同研究が推進され、両大学間の連携が更に深まることを期待したい。

